

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

幹事会 統一イメージ戦略分科会通信

平成19年11月発行 第2号

基調講演「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」を開催しました。

平成19年10月18日（木）午後6時から、三重県尾鷲総合庁舎5階大会議室にて、基調講演を開催しました。

本幹事会の副幹事長である石阪督規三重大学人文学部准教授が「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」をテーマに、講演会が行われました。

講演会では、三重大学の学生アンケートの結果を踏まえ、「他者との問題意識の共有」「資源の固有化、サービスの質の高さを伝播」等の広域的な地域連携とまちづくりにおける方向性を論じられました。

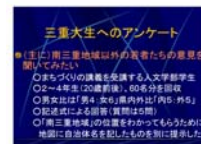
また、基調講演開始前には、本幹事会の幹事長である渡邊悌爾先生よりあいさつの言葉をいただきました。



基調講演終了後には、各分科会に分かれて、それぞれ活発な意見交換を行いました。



▲石阪先生の講演風景



▲基調講演の開催風景

『第2回統一イメージ戦略分科会』の概要

第2回統一イメージ戦略分科会の開催概要

<議論の方向性>

共通イメージコンセプト・プロトタイプ案の議論

<提供資料>

- ①各種調査結果
 - ・観光資源調査
 - ・自治体アンケート結果
 - ・観光トレンド調査結果
 - ・中京圏観光客へのインターネット調査
- ②プロトタイプ案設計へのアプローチ
- ③コンセプトプロトタイプ6案

事前に資料を配布し、当日の分科会に望んでもらいました！

<分科会メンバーの主な検討事項>

- 共通イメージコンセプトの検討
- 街道に沿った観光テーマによる資源のくくり方
- 観光テーマに沿ったさらなる資源発掘



統一イメージ戦略分科会
開催風景

「コンセプト3」が
統一イメージコン
セプトになりました

共通イメージコンセプト・プロトタイプ的设计

コンセプト1：自然と心、精神的な癒し - 非日常、新しい発見

究極の癒し - 日本人の心の故郷へ：京都よりも、奈良よりも・・・

コンセプト2：歴史と文化 - 非日常、新しい発見、自身の向上

ようこそ神々の里へ - 日本創生神話の神々が鎮座する地・・・

コンセプト3：世界遺産、歴史的価値、癒し - 非日常、新しい発見、自己向上

「紀伊山地の霊場と参詣道」日本が世界に誇る世界遺産がここに・・・

コンセプト4：自然、食、地元の人々とのふれあい - 家族との絆

海、山、川・・・四季折々の山々と海の景色、食の宝庫。家族で・・・

コンセプト5：自然と景観を楽しむ観光ドライブウェイ - 日常の延長、気軽な旅

紀勢道の開通により・・・南三重地域がたいへん便利に・・・

コンセプト6：食材の宝庫 - 南三重を味わいつくし、明日への活力を作る

南三重地域は、海の幸・山の幸の宝庫です。新鮮で、安全な食材・・・

■第2回統一イメージ戦略分科会の検討結果の報告

第2回統一イメージ戦略分科会では、「世界遺産『熊野古道』と古代ロマン・歴史ロマンに癒される一非日常、新しい発見、自身の向上」がメンバーの考える統一イメージコンセプトになりました！

<コンセプト3（以下C3）を推す主な意見>

- ・C3「世界遺産：熊野古道」がこの地域にふさわしい。
- ・他の田舎とかぶらず、差別化として世界遺産が使える。他地域にないのはこれ。C3以外は、日本のどこにでもある。
- ・道が世界遺産になったのは、2例のみ。
- ・訴求ポイントが広く、いろいろなことを説明する必要がない。

<観光促進を地域経済活性化に結びつける方向性>

- ・降りたところで、おいしい食べ物など、売っているものがない。
- ・無理に経済効果を上げず、手探りで伸ばしていく。
- ・語り部の味付けが魅力をつくる。地域の人が語り部となれるよいストーリーやソフトづくりをする。つまり人興しであり、人材開発だ。
- ・古道はハイキングやツアーにはちょうどよい高さの山。「めはり寿司」を含め、地元の発酵文化の食べ物をお弁当に買い持参してもらおう。
- ・峠ばかりが有名になっているが、本来、峠は町と町を結ぶもので、主役は町。町の演出やイメージづくりというソフトが大切だ。
- ・熊野古道には始神峠、馬越峠などいろいろな峠がある。こうした名前の由来には、歴史的なストーリーがあるはずで、背後にこの地域共通の歴史・文化の世界がある。

<コンセプト3選択時の課題>

- ・「五感に訴求する」面が弱いのでサブのコンセプトで厚みを出す。
- ・サブをコンセプト6（食）にし、C3に欠けているものを補う。
- ・熊野古道は、惹きつける力はあるが、古道一色にこの地域をするのはどうか？世界遺産が50や100になったら価値がなくなる。
- ・同じ古道でも和歌山と伊勢路は違う。和歌山は貴族の通った道、伊勢路は庶民の道。こちらのよさを演出し、強調した方がよい。

<熊野古道から歴史・文化への展開>

- ・体験性の強い世界遺産で、古道を歩き、歴史や自然を感じてもらおう。
- ・古道からの脇道、海辺の道を含め、平成の巡礼地にする。
- ・サンティアゴ・デ・コンポステーラは、キリスト教徒が集まる。古道は、今は健康ウォーキングを目的に人が集まる。巡礼路であることを特徴づけ、歴史的な深さを学べることを訴える。
- ・世界遺産登録の理由は、「歴史的文化的景観」。本来、歴史・文化・本物を感じてもらおう仕掛けづくりが地域ごとに必要だ。

今後の方向性



分科会メンバーが考える方向性！

- 世界遺産の独自性
- 他コンセプトによる補完
- 歴史・文化へ展開
- 地域経済活性化
- 街中への誘導
- 8市町をつなぐ

- ①熊野古道、世界遺産を前面に打ち出す
- ②他のコンセプトによる補完
- ③熊野古道から歴史・文化への展開
- ④地域経済活性化につなげるための課題
- ⑤観光促進を経済に結びつけるには街中への誘導の仕組みづくりが不可欠
- ⑥8市町を地域としてつなげる方法として歴史・文化・精神性が共通項となっていく。

今後の予定 ➡ 次回の分科会は、平成19年11月21日（水）に開催します

<主な検討内容>

- 統一イメージコピー制作における地域からの要望事項（尊重するポイントや、使って欲しくない言葉など）
- メンバーが考えてきた観光促進策との比較検討
- 熊野古道と地域の歴史・文化に関わる無形観光資源 など

意見を募集します！

統一イメージ戦略分科会以外の幹事様からも積極的な意見を募集したいと思います。

右記問合せ先まで
ご連絡下さい

● 問い合わせ・連絡先

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

<事務局>

東紀州観光まちづくり公社

<問合せ先>

□紀北事務所（担当：松田）

電話：0597-23-3784

FAX：0597-23-3785

E-mail：matsuk15@pref.mie.jp

□紀南事務所（担当：大崎）

電話：0597-89-6172

FAX：0597-89-6184

E-mail：oosaki@kassay.org